

真に女性が活躍する社会とは？

男女共同参画推進ネットワークコラム

「女性の活躍」が脚光を帯びている背景は、急速な少子高齢化と共に、女性自身の意識や法律などの遅れがあるからだと思います。

欧米諸国と比較すると、日本は男性の家事・育児をする時間がとても少ない傾向にあり、日本の女性の多くが出産・育児を理由に離職しています。

女性が活躍する社会を実現するために、家庭内のことや、子育て、親の介護、近所付き合いなどをパートナーと「分担・協力」でできるように話し合ってみませんか？

仕事を続け、社会に参画しながら活躍している女性たちや、それをサポートしてくれる人たちにエールを送りたいものです。(小山雅子) ○意見・感想を下記アドレスへお寄せください。



✉ kyoudou@city.moriya.ibarak i.jp

知っていますか？

守谷の健康・あなたのからだ

● 問合先 保健センター ☎ 48-6000

特定健康診査、いわゆる“メタボ健診”を毎年受けていますか？

守谷市国民健康保険に加入している40歳～74歳の方の過去3年間のメタボ該当者割合をみると、女性は国や茨城県と比較して低いのですが、男性は国・茨城県を上回り、26.8%でした。

つまり、守谷市の男性の約4人に1人がメタボに該当します。メタボ予備群の方を合わせると、女性は約10人に1人、男性は約2人に1人がメタボ該当・予備群となります。守谷市は男性のメタボ該当者が多いというのが現状です。

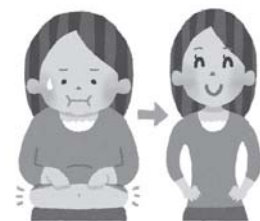


メタボとは、腹部肥満（内臓脂肪の蓄積）、高血圧、高血糖、脂質異常の4つの危険因子が集まった状態です。内臓脂肪がたまることで、高血圧、高血糖、脂質異常を招きやすくなります。

年齢とともに血管は硬くなります。そこへ脂肪細胞から出るホルモンにより血圧や血糖値などが上がり血管が傷つくことで、動脈硬化が進んだり、心筋梗塞などの心血管疾患を引き起こす原因になるのです。

最近では、腹部肥満がなくても高血圧、高血糖、脂質異常がある場合、心血管疾患の危険性が高まると研究でわかってきており、どんな方でも健康管理は大切です。

今年度は9月1日(木)から特定健康診査が始まります。あなたも、特定健康診査を受けて、自分の身体を知りましょう。



▲ 審査風景

◎アーティスト・イン・レジデンスプログラム
今年度のレジデンスプログラムも、招へい3組の枠に世界中から応募が殺到し、89か国・地域より過去最多の応募656件という実績をあげました。アーティストは8月に来日します。

ARCUS

Residency for Artists, Experiments for Locals, Moriya, Ibaraki
現在のアート・芸術文化を守谷から。

● 問合先 アーカススタジオ (もりや学びの里内)
日・月曜日休館 ☎ 46-2600 (10:00～18:00)

✉ arcus@arcus-project.com

◎ 詳細な情報はアーカスプロジェクトで検索！



▲ 梅津庸一氏

◎ 9月実施予定「いちねんせい」のさくひんてん」
アーティスト決定！
市内三校の小学一年生と芸術活動を行うアーティストが梅津庸一さんに決定しました。独自の制作活動で注目を集める気鋭のアーティストと一年生の協働が大変楽しみです。
● 梅津庸一
1982年山形県生まれ。自画像を中心とした絵画制作のみならず、近年ではテキストの執筆、展覧会の企画、美術運動としての私塾、パープルム予備校の運営、など多岐に渡るが、その根底には常に自明のものとなつている美術という制度を疑いつつ、正当ではないものをいかに自然に組み込めるかという姿勢が見受けられる。
現在は神奈川県相模原市を拠点に活動。